

6/10 「よしだや」が町内初の JGAP 認証を取得 ニンニクの力を広めていきたい

ニンニクの生産・販売を行っている農業生産法人(株)よしだや（吉田清華社長）は、農作物の安全や環境保全に取り組んだ農場に与えられる国内の認証制度「JGAP」認証を取得したことを報告するため、松尾和彦町長を訪れました。

同社は、4月25日に町内初の JGAP 認証を取得。薬剤散布時の環境への配慮や、従業員の安全と人権の尊重、販売管理の方法などの取り組みについて報告しました。

吉田社長は「認証取得まで半年ほどかけて、社員一同で取り組んできました。今後もニンニクの力を全国に広めていきたい」と意欲を語りました。



（左から）松尾町長、吉田社長、従業員の皆さん

6/25 馬場のぼる絵本プレゼント

絵本をとおして親子の絆を深める

三戸町の漫画家で絵本作家の故・馬場のぼる先生を中心に、豊かな言葉や絵、物語をとおして、子どもたちの心を情緒豊かに育てることを目的とした絵本プレゼントが、のぼたん広場（三戸町総合福祉センターふくじゅそう内）で行われました。絵本プレゼントでは、生後2～4か月の乳児を対象に、馬場先生の絵本と0歳児向けの絵本を1冊ずつ贈呈します。今回は、松尾和彦町長から2人の乳児に本が手渡されました。

松尾町長は「子どもとの絆を深める意味でも、読み聞かせは大事。子どもたちが、まっすぐな気持ちで育ってくれることを願っています」と話しました。本を受け取った西野嵩史くんの母昌子さんは「本が大好きな子に育ってほしい。たくさん読み聞かせます」と感謝を述べました。



（左から）松尾町長、西野嵩史くんと昌子さん

7/12 有害鳥獣による食害防止の電気柵設置見学会 有害鳥獣から畑を守るために

有害鳥獣による食害を防止する電気柵の設置見学会を、町内のデントコーン（飼料用トウモロコシ）畑で行いました。見学会には、三戸町と田子町の農家7人が参加。サージミヤワキ(株)盛岡事務所の従業員が講師を務め、電気柵の設置方法について指導しました。

この電気柵の設置は、町の「令和3年度三戸町有害鳥獣被害対策協議会捕獲わな購入費補助金」が助成されており、設置の際は、費用の3分の1が補助されます。町では近年、クマやシカによる食害が増加しており、デントコーン畑を所有する町内畜産農家の野中耕進さん（69歳）も被害に頭を抱えていました。

野中さんは「20～30年ほど前からクマによる被害が起き始め、ここ10年でさらに被害が増えてきました。今回設置した電気柵を有効に活用して被害を抑えていきたい」と話しました。



設置の指導を受ける農家の皆さん



稚魚を放流する子どもたち

6/11 杉沢小が稚魚を放流

大きくなって戻ってきてね

三戸漁業協同組合（足澤光国組合長）は、イワナとヤマメの稚魚約 10,000 匹を猿辺川に放流しました。放流には、杉沢小中学校の児童 4 人が参加。子どもたちは、元気に育つようお願いを込めて稚魚を放流しました。

老久保綺槻さん（杉沢小 4 年）は「勢いのある川を泳ぐ小さな魚たちに感動しました。大きくなって戻ってきてほしい」と笑顔で話しました。足澤組合長は「古里の川を守っていかなければならない。多くの魚と触れあえる川にするため、子どもたちにも川の環境保全に務めてほしい」と話しました。放流後は、お土産として児童にイワナの塩焼きが配布されました。



抱負を語る畠山さん

6/26 三戸土曜塾開塾式

一人ひとりが目標に向かって

学力向上を目指す児童・生徒に元教員などのボランティアが学習指導を行う三戸土曜塾の開塾式が中央公民館で行われ、活動 10 年目となる今年度は、32 人が入塾しました。

三戸土曜塾の会の大庭礼子会長は「土曜塾をととして、勉強だけでなく、古里である三戸に誇りを持てるような人になってほしい」とあいさつをしました。

塾生リーダーの畠山貴さん（三戸中 9 年）は「休みの日に勉強することが苦手なので、勉強できる環境ができて良かったです。苦手教科を克服できるように頑張ります」と話しました。

6/26 さんのへ農業小学校で課外授業

町外でニンニク掘りに汗を流す

子どもたちに農業をととして食の大切さを教えるさんのへ農業小学校で課外授業が行われました。参加した 15 人の子どもたちは、田子町を訪れニンニクの収穫作業に汗を流しました。

子どもたちは「初めて掘ってみて楽しかった」「暑かったけれど、たくさん掘れて嬉しかった」と感想を話しました。

作業後、子どもたちはお土産として田子ニンニクや、開校式の日に植えた野菜を持ち帰りました。



作業に汗を流す子どもたち



馬場副町長にメッセージを手渡す
越後会長

7/2 社会を明るくする運動

安全・安心なまちづくりを目指して

第 71 回社会を明るくする運動のメッセージ伝達式が行われました。この運動は、犯罪や非行防止と、罪を犯した人の更正について理解を深め、犯罪のない地域社会を築こうとする全国的な運動です。

三戸町では、八戸地区保護司会三戸分会の越後秀会長が、内閣総理大臣と青森県知事のメッセージを代読し、馬場浩治副町長に手渡しました。馬場副町長は「今後も、安全・安心な町をつくるために活動してほしい」と松尾和彦町長のメッセージを代読しました。